

。○。○。○

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2015. 3. 30

下水道機構の『新技術情報』 第183号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○

今年度最後のメルマガとなりました。読者の皆様のおかげで今年度もメルマガ配信を継続することができました。ありがとうございます!(^)! 来年度はさらに皆様と双方向の情報交換ができるようパワーアップしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします<m(_)_m>

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第183号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・平成27年度審査証明事業にかかわる実施要領を3月23日付で改訂しました
- ・2015下水道防災シンポジウム in 仙台に参加
- ・3/12(木)に第6回理事会を、3/19(木)に第5回評議員会を開催しました

■機構の動き

- ・今週は、3/31(火)に平成26年度新技術研究成果証明書交付式を行います

■Tea Break

- ・映画「おみおくりの作法」 (技術評価部 油井 彰さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は、当機構企画部の中村(川崎市より出向)より3/22に開催された「多摩川リバーサイド駅伝(主催:川崎市ほか)」についての投稿です

■国からの情報

- ・3/27付下水道ホットインフォメーション

。○。○

インフォメーション (最新の話です)

。○。○

- 平成27年度審査証明事業にかかわる実施要領を3月23日付で改訂しました

詳しくはホームページをご覧ください。→

<http://www.jiwet.or.jp/examination/general-4/%e5%ae%9f%e6%96%bd%e8%a6%81%e9%a0%98-3-3-3>

●2015 下水道防災シンポジウム in 仙台に参加

「2015 下水道防災シンポジウム in 仙台」が開催され、当機構は3/16(月)から3/19(木)に南蒲生浄化センター・下水道展示コーナーに出展しました。また、3月17日にAER情報産業プラザにて行われたシンポジウムの事例発表プログラムにおいて、当機構の紹介や防災に関する研究事例紹介を行いました。この模様は、来月中旬頃に発行するニューズレタープラス8に掲載し、関係者に配信を予定しています。

●3/12(木)に第6回理事会を、3/19(木)に第5回評議員会を開催しました

今回の議案は、平成27年度事業計画(案)と収支予算(案)等についてでした。理事会においては、各議案について活発な議論が交わされましたが、原案どおり出席理事全員一致で議決されました。また、評議員会では、これらの理事会決議事項等について報告がありました。

※平成27年度事業計画等はこちら

<http://www.jiwet.or.jp/about/%ef%bc%92%ef%bc%93%e5%b9%b4%e5%ba%a6-2-2>

。 。 ○ 。

機構の動き (機構の行事予定です)

。 。 ○ 。

●平成27年3月31日(火)13:00~14:00

行 事 : 平成26年度 新技術研究成果証明書交付式

場 所 : 機構8階 中会議室

案 件 : 管きよの長寿命化を目的とした部分改築工法の開発に関する共同研究
下水道用マンホール改築・修繕工法に関する共同研究

○平成27年4月9日(木) 17:00~18:00

行 事 : 第336回技術サロン

場 所 : 機構8階 中会議室

ゲスト : 東京都下水道局計画調整部

緊急重点雨水対策事業担当課長 中井 宏 氏

テーマ : 「東京都における浸水対策の取り組み」

※参加お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。 。 ○ 。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。 。 ○ 。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2015.3.27 付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 本田康秀

=====

★★★★★ ラインナップ ☆☆☆☆☆

●「仙台市下水道事業経営指標レポート」及び「仙台市下水道事業リスクレポート」の公表

について【仙台市】

●計画規模を超える局地的な大雨に対する新たな雨水管理計画策定に係る調査検討会（第4回）の開催について【国土交通省】

●Pen+「大いなる可能性を秘めた 下水道のミライ」発刊のお知らせ

【(公社)日本下水道協会、下水道広報プラットフォーム(GKP)】

●「第13回アーモンド並木と春の音楽会」の案内【神戸市建設局東水環境センター】

●第84回早慶レガッタの開催について

【国土交通省、(公社)日本下水道協会、下水道広報プラットフォーム(GKP)】

●流域下水道管理者と公共下水道管理者との連携に係る検討について【(公社)日本下水道協会】

●活性汚泥法誕生百年企画【NPO21世紀水倶楽部】

○国土交通省災害・防災情報 (<http://www.mlit.go.jp/saigai/index.html>)

=====

●「仙台市下水道事業経営指標レポート」及び「仙台市下水道事業リスクレポート」の公表について【仙台市】

仙台市下水道事業では、平成25年度よりアセットマネジメントの本格運用を開始し、事業が目指す目標の達成状況の評価と、管路や設備の老朽化等のリスクの評価に取り組んでいます。この度、平成25年度における評価を行いましたので、その結果を公表しました。

公表URLは下記のとおりです。

http://www.city.sendai.jp/gesui/1217029_2478.html

●計画規模を超える局地的な大雨に対する新たな雨水管理計画策定に係る調査検討会（第4回）の開催について【国土交通省】

「計画規模を超える局地的な大雨に対する新たな雨水管理計画策定に係る調査検討会」（委員長：古米弘明 東京大学大学院教授）は、昨年9月の発足以降、審議を進めてきましたが、今年度最後となる第4回検討会を3月19日（木）に開催しました。検討会では、「ストックを活用した都市浸水対策機能向上のための新たな基本的考え方」（平成26年4月公表）を踏まえ、水位観測を基本とした浸水シミュレーションの活用を図るなど、来年度以降に（公社）日本下水道協会と連携し下水道施設計

画・設計指針へ反映すべき論点（案）の審議を行いました。また、今年度国交省が神奈川県厚木市、愛知県岡崎市と共同で実施したストックを活用した雨水管理計画のF S調査の報告書（案）の審議を行いました。本検討会のとりまとめ及びF S調査報告書については、後日公表の予定です。

→新たな考え方、F S調査の情報

(http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000314.html)

●Pen+「大いなる可能性を秘めた 下水道のミライ」発刊のお知らせ

【(公社)日本下水道協会、下水道広報プラットフォーム(GKP)】

下水道広報プラットフォーム(GKP)と公益社団法人日本下水道協会は、下水道の真の価値を広く伝えると共にこれからの下水道をみんなで考えていく全国ネットワークの構築を目指して、様々な取り組みを行っております。2013年7月に発刊した第1弾「Pen+ 21世紀のエコライフを支える 下水道のチカラ」は、平成26年度国土交通大臣賞〈循環のみち下水道賞〉グランプリを受賞し、大好評を博しました。このたび、CCCメディアハウスと協働で、下水道特集第2弾として「Pen+ 大いなる可能性を秘めた 下水道のミライ」を制作、3月24日より一般書店・インターネット書店等にて発売しております。第1弾でご紹介しきれなかった下水道の魅力とその可能性を、たっぷりご紹介しております。広く皆様にもご活用いただければ幸いです。

《概要》タイトル：Pen+（ペン・プラス）大いなる可能性を秘めた 下水道のミライ

出版社：CCCメディアハウス

価格：950円（税込）

※配本のある書店のリストを下水道協会HPにてご紹介しています。

《主なコンテンツ》

- ・未来予想図
- ・クルマ；これからの下水道は、エネルギーの宝庫に。
- ・ビストロ下水道
- ・下水道女子；下水道業界で活躍する、美しき女性たち。 等

↓書店リストつきプレス資料

<http://www.jswa.jp/wp/wp-content/uploads/2015/03/13a2ab50b844e97ad8efe8e91a37e463.pdf>

●「第13回アーモンド並木と春の音楽会」の案内【神戸市建設局東水環境センター】

バラ科のアーモンドは、桜より少しピンクが濃く、花びらも少し大きいのが特徴です。本イベントが開催される3月28日（土）は、ちょうど見頃を迎えそうです。当日は、演奏やダンス、神戸のキャラクター登場などのステージイベントや、高所作業車やボートへの体験乗車、ラジコンボートの体験走航、生物観察会、普段見れない下水道処理場の見学など、ご家族で楽しめるイベントが盛りだくさんです。また、次世代自動車の展示コーナーでは、水素で走る夢の燃料電池車（FCV）“MIRAI”も展示されます。さらには、婦人会、自治会さんの模擬店では本邦初となる”マンホール鉄板

焼き”も登場します。あの大震災から20年。復旧・復興を通じて、地域の皆様と手作りで開催する”アーモンド並木と春の音楽会”。本イベントを楽しんだ後に、”魚崎郷の酒蔵巡り”なんていうのもお勧めです。

幸いにも、当日は好天が予想されております。一足早い春の訪れを、本イベントで感じて頂けたらと思います。皆様方のご来場を心よりお待ちしております。

<アーモンドの開花状況の写真>

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/town/waterworks/sewage/2015almondkaikajokyo.html>

<日時>平成27年3月28日(土)10時~15時(荒天中止)

<会場>神戸市建設局東水環境センター 水辺の遊歩道・うおざき(東灘区魚崎南町2丁目1-23)

<内容>

★ステージイベント

★模擬店

★下水処理場見学

★働く車の展示

★白バイコーナー

★模造船工作教室

★ラジコンボート体験走航

★ボートの体験乗艇

★鉄道模型(Nゲージ)

★生物観察会

<アクセス>

- ・JR住吉駅から市バス35系統「魚崎南町2丁目」下車
- ・JR甲南山手駅 又は 摂津本山駅から市バス34系統「魚崎中学校前」下車
- ・阪神魚崎駅または青木駅から徒歩約15分

詳細はこちら

→ <http://www.city.kobe.lg.jp/information/press/2015/02/20150220301501.html>

●第84回早慶レガッタの開催について

【国土交通省、(公社)日本下水道協会、下水道広報プラットホーム(GKP)]
水上の熱き戦いが、今ここに。第84回早慶レガッタが以下の要領で開催します。

- ・開催日：平成27年4月19日(日)
- ・開会：午前9時~ 対校エイト：午後15:30~
- ・場所：隅田川(新大橋上流~桜橋上流)3,750m
- ・URL：<http://www.the-regatta.com/>

本大会は、下水道整備による水質改善効果等を広くPRする主旨のもと、国土交通省下水道部、(公社)日本下水道協会、下水道広報プラットホーム(GKP)が後援しております。

●流域下水道管理者と公共下水道管理者との連携に係る検討について【(公社)日本

下水道協会】

日本下水道協会都道府県委員会では、下水道事業に係る都道府県における諸問題について調査審議し、都道府県間の連絡調整を図ることを目的に活動しております。当委員会では、流域下水道は流域下水道と流域関連公共下水道とのシステムとして管理されるべきであり、そのための連携が、下水道技術職員が削減されている中ますます重要となっているといった問題意識から、平成 25 年度よりワーキンググループ（WG）を設置し、流域下水道管理者と公共下水道管理者との連携について検討を進めてきました。分野としては、「雨天時浸入水対策・悪質下水対策」「災害対策」「広域汚泥処理」という 3 分野です。平成 26 年 3 月には「雨天時浸入水対策・悪質下水対策」に係る報告書が取りまとめられましたが、このたび「災害対策」及び「広域汚泥処理」に係る報告書についても取りまとめられ、都道府県に情報提供を行いました。「災害対策」及び「広域汚泥処理」、それぞれ一般論を整理した上で、都道府県の好事例の情報を紹介しています。報告書は、日本下水道協会のホームページ内「会員交流の広場」で閲覧可能（日本下水道協会の会員等のみ閲覧可能）となっています。報告書に係る問い合わせは、委員会の事務局である日本下水道協会企画調査部経営調査課（電話 03-6206-0279）までお願いします。

●活性汚泥法誕生百年企画「活性汚泥法処理施設の設計・運転と電力消費」

【NPO21世紀水倶楽部】

活性汚泥法施設運転のために大量の空気を送り込むなど多量の電力が必要で、下水道の電力消費は全国の 0.7% にのぼっています。水処理施設の電力消費は大半がエアレーション設備、次に返送汚泥ポンプとなっていて、大半の処理場が運転開始している現在これらの既存施設の省エネが大きな課題です。下水道の省エネが課題になったのは第一次石油ショックのあった 40 年も昔のことになります。これまで機器の技術進歩がある一方で設計条件と実運転の乖離があること、制御装置など立派なものが設置されている一方でプラント省エネ管理の基本である施設別の電力消費が計測されるようになっていないこと、など省エネはそれほど進んでいないようです。一方、活性汚泥の活動を支えるという難しい特性もあります。原発の停止により、電力の CO₂ 発生源単位が上昇している現在一層の省エネが求められています。今回 OD 法を含む活性汚泥法水処理施設について消費電力の実態、省エネ方策の効果と問題点、今後の課題などを説明、討議して頂くものです。

<プログラム>

- ・省エネ技術革新総論 日本下水道新技術機構 資源循環研究部 石田 貴部長
- ・送風機の最近の進歩 (株)電業社機械製作所 社会システム技術部 坂本 浩部長
- ・OD 法など小規模施設の設計と運転 メタウォーター (株) プラントエンジニアリング

事業本部 鈴木 和美 シニアアドバイザー

- ・質疑討論のコーディネーターは、清水治副理事長がつとめます。
- ・集会後交流会を予定しています。

<参加申し込み>

当クラブHPからお願いします

→ <http://www.21water.jp/index.htm>

- =====
- ◆「消化ガス発電設備」完成 松山、4月1日から本格稼働〈3/23 産経ニュース〉
<http://www.sankei.com/region/news/150323/rgn1503230028-n1.html>
 - ◆ベ이스ターズ、ロゴ入りマンホールカバー寄贈 横浜・関内活性化を支援〈3/25 産経ニュース〉
<http://www.sankei.com/region/news/150325/rgn1503250023-n1.html>
 - ◆セーリング会場の水質改善「難しい」 リオ五輪で地元市〈3/25 朝日新聞〉
<http://www.asahi.com/articles/ASH3T30Z4H3TKTQ2001.html>
 - ◆室蘭市と月島機械がバイオガス発電に調印、道内初〈3/23 室蘭民報〉
http://www.muromin.mnw.jp/murominn-web/back/2015/03/21/20150321m_01.html
 - ◆雨水で水道代節約 ハウス屋根→貯水タンク 静岡県磐田市の角田茂巳さん〈3/24 日本農業新聞〉
http://www.agrnews.co.jp/modules/pico/index.php?content_id=32677
 - ◆災害時の下水復旧迅速化 日本管路管理業協会と協定〈3/25 福島民報〉
<http://www.minpo.jp/news/detail/2015032521748>
 - ◆上下水道管の災害復旧協力 積水化学工と亶理町〈3/25 河北新報〉
http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201503/20150325_11023.html
 - ◆田辺市宝来町で下水路工事 駅前周辺の浸水対策〈3/25 紀伊民報〉
<http://www.agara.co.jp/modules/dailynews/article.php?storyid=291396>
 - ◆行政・政治：湖周行政事務組合 最終処分場は「屋内型」に決定〈3/26 長野日報〉
<http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=33806>
 - ◆下水道事業に企業会計 老朽化や人口減見据え〈3/26 河北新報〉
http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201503/20150326_11029.html

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20141031/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20141031/seikai7.pdf>
